

治療法を決めるとき大切なこと

相談

患者さんの
価値観

希望する
生き方

十分な
説明

説明の
理解

標準治療

価値観・生き方

インフォームド・コンセント





がん治療中に 支援を必要とするのは誰？

体

の痛み・つらさ

心

のつらさ

社会的

なつらさ
仕事・経済的
問題



がん患者だけでなく
支える**家族**にも
支援が必要。

それぞれの分野の専門家が チームで患者とその家族を支援

治療法の
選択を
助ける

看護師

医師

薬剤師

痛みを
取り除く

患者と家族

ソーシャル
ワーカー

カウンセラー

経済面の
支援をする

栄養
管理士

リハビリ
専門職

日常生活
を取り戻す

私達にできることは？

自分が当事者になった場合を想像してみよう

自分の大切なひとががん患者になった場合

病気のことを伝えてほしいか？

どうしたいか？

なにをしてあげられるか？

自分ががん患者になった場合

どうしてほしいか？

してほしくないことは？

私達にできることは？

- 本人が何を望んでいるのかを知り、対応することが大切
よかれと思って行ったことについて
ある人にとってはありがたいことであっても
別の人にとっては、ありがた迷惑ということもあり得る

「がんばってね!」は○？

×？

- やらない方が良いこと
SNSなどで得た情報をもとに、
根拠のない治療法をすすめること

・標準的治療を行うタイミングを失う可能性

がんに関する情報の入手方法

■ 正しい情報をどこで手に入れるか？

- 国立がん研究センター:がん情報サービス
- がん診療連携拠点病院:がん相談支援センター



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan
がん情報サービス
ganjoho.jp

■ 仲間の話を聞いてみたい

- がん相談支援センター:がんサロン
- 患者会



彦田さんにも聞いてみましょう

支えになったことは？



大切な仲間からのメッセージ



がん患者つながろう
長野・飯田の女性が患者会呼び掛け
中日新聞 2019年2月4日

ガンカンジャー
渡辺さゆりさん

愛知県がんセンター病院「エバーグリーンの会」設立
(外国人がん患者さんの会)

中日新聞web 2019年4月13日



抗がん剤を点滴中の渡辺さゆりさん（右）と、設立の打ち合わせをするサイモン・デービスさん＝3月、名古屋市千種区の愛知県がんセンターで

大切な仲間からのメッセージ

ガンカンジャーの行動指針

-  がん患者だからできる体験を楽しむ
-  活動範囲を広げる
-  行ったことのない所へ行く
-  おいしいものを食べる
-  今生きていることを楽しむ
-  今からできることを考える
-  学べることはできる限り学ぶ
-  準備できることはする
-  助けてほしいこと、受けたい支援はきちんと伝える

がんになって気づいたこと

当たり前日常



の大切さ



伝えたいこと

- いのち
- 生きること
- 助けてと声をあげること



約 束

- 助けを求めて
- 日常の大切さに気づいて
- 今日のお話を聞いて思ったことを



大切な人に話して

先生と経験者と医療者によるいのちの授業
おしまいです

いのち 大切にしてください



ありがとうございました